



建物の概要
所 在 地:福岡県北九州市八幡東区大字尾倉
敷地面積:120ha
延床面積:946m²
設 計:アキラヤマシタアソシエイツ、小山設計事務所
竣 工:平成11年7月

大胆な建築化照明や外壁のライトアップ等による印象的な駅の照明

Bold architecture lighting concept and light-up of outside wall make the lighting of the station impressive

■ 矩形配光HQL投光器の光パターンにより大空間をドラマチックに演出

Light patterns produced with rectangular shape HQL floodlights produce a dramatic expansive space

本施設は、宇宙テーマパーク「スペースワールド」がある北九州市東田地区と周辺市街地の一体的整備の一環として、JR鹿児島本線の直線高架化により誕生した高架駅で、2階建ての外壁には東田第一高炉のレンガ・スチールを使用して歴史的なイメージがつくり出され、また、“開かれた駅”“外部空間との連続性”をコンセプトにガラスの防風用スクリーンを使用し、ホームやコンコースが外から見える構造となっています。照明設備はこれらの施設コンセプトに準じ、様々な手法により美しく魅力ある駅空間づくりと明るく開かれた駅を印象づけるよう計画されました。コンコース動線方向に配置された大きな間接照明は、白く爽やかな光色の矩形配光HQLランプ投光器の使用により天井面に美しい光のパターンを浮かび上がらせ、単調となりがちな大空間をドラマチックに演出し、明るく広がりのある雰囲気仕上げています。外観は基調となるレンガをハロゲン電球投光器でスポット的に照明し、東田地区の歴史イメージを強調。コンコース部分は外からの見え方を考慮し、ガラススクリーン際の上部を2段折り上げ構造として照明を仕込み、夜間、美しいラインが現われるようにしています。また照明制御システムを導入し、駅の利用形態に合わせたタイムスケジュール制御、および外光が十分に入るホームやコンコースでは外の明るさに応じた点滅制御を行ない、経済性に配慮しています。

■ 照明コンセプト

Lighting design concept

- 施設のコンセプトにそった演出性と駅としての機能性、経済性を高い次元で実現



ホーム
Platform

蛍光灯による連続照明、昼光センサーで点灯パターン制御を行っている



駅前改札部
Wicket of the station

建築化照明とダウンライトにより「駅顔」を演出



コンコース
Concourse

美しい光のパターンで明るく広がりのある空間を演出



外から見るコンコース部

Part of concourse viewed from outside

ガラススクリーン際の上部に美しい光のラインが現れている

■ 主要照明器具一覧表

設置場所	器具名	形 名	台数	ランプ
コンコース	HQL投光器	MT-1533MF(K)	21	150W HQLランプ
	ダウンライト	DD-1531(S)	43	150Wネオアークビーム
	埋込器具	FR-3370N	40	36Wコンパクト蛍光ランプ
	ダウンライト	FHD-31000	106	32Wコンパクト蛍光ランプ
	間接照明	FT-41021NK	200	40W蛍光ランプ
外壁	投光器	QT-2530MF	12	250Wハロゲンランプ
ホーム	吊下器具	FT-41080MK	483	40W蛍光ランプ